

2024年度事業報告

1 概要

社会福祉法人誠和会は、コロナ禍を経て地域福祉活動の再構築に取り組み、法人運営では理事会・評議員会等を適切に開催し、定款変更や建物改修を進めた。サービス面では、健康管理や行事の充実に努め、子ども食堂や地域交流活動も継続実施し、人材育成では、研修参加や外国人実習生の受け入れ、処遇改善を図り、職員の定着と成長を支援した。設備面では施設改修や備品更新を行い、安全で快適な環境整備を推進した。

今後も地域に根ざした福祉の実現と、質の高いサービス提供を目指してまいります。

2 法人全体の運営状況

(1) 子ども食堂「ひだまりキッチン」

毎月第2・第4木曜日に定期開催。地域の子どもや保護者、高齢者など多世代の交流の場として定着した。

(2) 法人内連携体制の強化

グループ内通所会議・連携会議の開始により、法人内施設の横断的な情報共有と支援体制の強化を図った。

(3) 施設利用者の経済的支援

特養及びグループホームにおける居住費見直しを実施した。

(4) 収支改善への取組

各施設の利用率を月次で管理し、材料費・委託費等の価格交渉・見直しを進めた。

(5) 行政対応等

福岡市立入調査対応、介護サービス費電子申請の導入、入札契約手続きの適正化を実施した。

(6) 各種届出と申請

施設変更届、医務室変更届、地域介護福祉空間整備交付金の申請等を行った。

(7) 法人広報

令和5年度年報を作成・発行した。

(8) 看護学生実習受入

福岡市医師会看護学校からの実習生受け入れを継続した。

3 利用者支援・処遇改善の取り組み

(1) 医療・健康管理

骨密度・嚥下・認知機能の三点測定を実施し、医師の指導の下で支援計画へ反映した。インフルエンザ予防接種、骨粗しょう症治療等の医療的支援を実施した。

(2) レクリエーション活動の充実

季節行事：敬老会、節分、ひなまつり、運動会、夏祭り、クリスマス会、お花見

調理レク：おやつクッキング、たこ焼きパーティー、パン教室、お茶会

外出支援：コスモス見学、紅葉狩り、ショッピングモールや観光施設への支援



4 職員体制・人材育成

(1) 研修・教育

法人内研修：人権・接遇・専門性強化・ユニットリーダー研修等を年間通して実施。
外部研修：喀痰吸引研修、認知症実践者研修、技術向上研修、技能実習責任者講習、
老施協研究大会、外国人介護福祉士交流会等へ参加。

(2) 人事・労務対応

夏季・冬季賞与支給、キャリアパス評価制度の運用、ストレスチェックの実施。
永年勤続表彰、育児休業からの復帰支援、入退職管理、職員子ども入学祝いの支給。
ミャンマー技能実習生との交流会により国際人材支援を推進。

5 施設・設備の整備・更新

(1) 大規模整備

けやき浴室・たちばなトイレの改修工事を実施。厨房スチームコンベクション更新、
特殊浴槽・ウルトラファインバブル・プロパンガス設備整備。

(2) 備品導入・修理

チェアセンサー、中継センサー、炊飯器、圧力測定器、検食用冷凍庫等の導入。
給湯設備、配膳車、乾燥機、車両、非常用発電設備など各種設備の点検・修理を随時
実施。

6 地域との連携・貢献

干隈3丁目カフェ、地域運営推進会議、民生委員の施設見学などを通じて地域との交流
を推進。飯倉校区体育祭、防災訓練、子育て交流、地域包括援センター等との連携活動
を継続。地域包括支援センターによる買い物支援を原校区で実施。

7 今後の課題と展望

- (1) 介護人材の確保・定着に向け、職員処遇と業務環境の更なる改善が必要。
- (2) デジタル技術を活用した業務効率化（見守りセンサー、記録システム等）を継続的
に推進。
- (3) 地域との連携強化による“地域共生社会”の実現と、福祉ニーズの多様化への対
応。

